

会員募集中！
応援よろしく！

なにわの伝統野菜研究会

作りにくさや病害虫のため一時姿を消し、幻となっていた「なにわの伝統野菜」が、一部有志の手により甦り、地産地消、健康ブーム、安全面などで、見直されて広まりつつあります。
この会は伝統野菜のルーツを調べ、甦った伝統野菜を二度と消えることがない様に、長く情報発信と普及、振興に協力を目的に発足しました。

楽しく、
おいしい活動が
いっぱいです



姿を消した毛馬きゅうり
65年ぶりに見つかった？

◇主な活動として

- ・関連する講演会、勉強会に出席(年間10回以上)
- ・伝統野菜イベント行事に協力、参画
- ・講師を招いて勉強会開催
- ・伝統野菜の生産農家を見学、勉強と手伝い
- ・畑を借りて、又はベランダなどで伝統野菜を栽培、収穫
- ・かなん(河南町)畑で作業&勉強会
- ・小学校などでの栽培協力
- ・伝統野菜で食事会(年2~3回)
- ・他の伝統野菜団体との交流
- ・伝統野菜の講演(お話)活動

◇なにわの伝統野菜・18品目

毛馬胡瓜(けまきゅうり)、天王寺蕪(てんのうじかぶら)、鳥飼茄子(とりがいなす)
三島独活(みしまうど)、勝間南瓜(こつまなんきん)、大阪しろな(おおさかしろな)
金時人参(きんときにんじん)、芽紫蘇(めじそ)、服部越瓜(はっとりしろり)
玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしろり)、田辺大根(たなべだいこん)
吹田慈姑(すいたくわい)、守口大根(もりぐちだいこん)、高山真菜(たかやままな)
高山牛蒡(たかやまごぼう)、碓井豌豆(うすいえんどう)、泉州黄玉葱(せんしゅうきたまねぎ)
難波ねぎ(なんばねぎ)平成29年4月に認証される。

天王寺蕪は
野沢菜の親？



メモ帳

伝統野菜がブームになる前から興味を持ち関わって来たので、伝統野菜関係者とのつながりが深く、この会からもかなりの情報が発信でき、伝統野菜を通して食育ボランティアとしても活動しています。

設立	平成20年10月9日	会員数	135名
年会費	なし		
活動日	月に4~5回(主に木・金曜日)		
連絡先 (代表者名等)	〒534-0016 大阪市都島区友渚町1-3-27-306		清原 風早子 PCメール kf1843@gmail.com
	Tel・Fax 06-6925-2903		